

奈良市議会

第11回議会報告会

報告書



令和6年5月10日（金）午後6時～7時30分
奈良市役所 西棟3階 大会議室・議場

はじめに

奈良市議会では令和6年5月10日に第11回議会報告会を開催いたしました。お忙しい中御参加いただいた皆様、また、開催に当たり御尽力いただいた皆様にお礼申し上げます。

第11回は、「～あなたが市長だったら～」と題し、学生の皆さんに「自分が市長なら市政にどう取り組むか」という観点から政策を議論・検討いただき、発表まで行っていただきました。

第1部では、市政のテーマごとにグループに分かれ、担当課職員から説明を受けた後、議員と職員を交えてグループワークを行い、政策の検討を行っていただきました。第2部では、第1部でまとめた政策を、各グループの代表者6名に議場の演壇で発表していただきました。

I 報告会の概要

- 1, 開催日時 令和6年5月10日(金) 午後6時から7時30分まで
- 2, 開催場所 奈良市役所 西棟3階 大会議室・議場
- 3, 参加人数 奈良大学から10名、帝塚山大学から15名、一般応募2名の合計27名
- 4, 開催次第
議会報告会 (司会: 宮池 明広 報広聴副委員長)
 - ① 開会のあいさつ 北 良晃 議長
 - ② 議会報告会の趣旨説明 内藤智司 報広聴委員長
 - ③ 第1部 グループワーク
 - ④ 第2部 発表
 - ⑤ 閉会のあいさつ 九里雄二 副議長

II 第1部 グループワークの要旨

第1部のグループワークでは、参加者が事前に選択したテーマ別にグループに分かれ、議員の進行の下、担当課職員も交え、第2部の発表に向けて政策を検討していただきました。

グループごとのテーマ

【第1グループ】環境と産業の両立（産業政策課・農政課）

参加者4名・議員2名（宮池 明議員・田畑日佐恵議員）

【第2グループ】地域福祉（福祉政策課）

参加者3名・議員2名（白川健太郎議員・山本直子議員）

【第3グループ】子育てと教育の充実（共生社会推進課・教職員課）

参加者5名・議員2名（塚本 勝議員・岡田浩徳議員）

【第4グループ】防災対策（文化財課・消防局予防課）

参加者5名・議員2名（道端孝治議員・太田晃司議員）

【第5グループ】防災対策（危機管理課）

参加者5名・議員2名（柳田昌孝議員・山岡稔季議員）

【第6グループ】子育てと教育の充実（共生社会推進課・教職員課）

参加者5名・議員2名（下村千恵議員・岡本誠至議員）

Ⅲ 第２部 発表の内容

第２部では、第１部で検討した政策について、各グループから発表者を選出し、発表者に議場の演壇で発表を行っていただきました。

各グループの発表の概要は以下のとおりです。

テーマ 環境と産業の両立

第１グループ

- 東部山間地域の抱える課題については、地域住民自身の声を聞く必要がある。
- 「祭り」に運営側で都市部の住民が参加することによって、山間部の住民との交流のきっかけになる。若い人たちと、祭りを維持している山間部の自治会とのマッチングを行政が行うことで、関係人口を増やしていけるのではないかな。
- 関係人口が増えれば、その人たちが空き家バンクを活用して民宿を運営するなど、宿泊施設不足の解消にもつながっていけるのではないかな。

テーマ 地域福祉

第２グループ

- 高齢者のひとりぼっちをなくすためにどうすればよいかを焦点に話し合った。
- 自動車学校との協力によりシャトルバスを運行するなどして移動手段を提供し、東西南北の福祉センターに行きやすくする。福祉センターでは多世代交流イベントを開催し、若者とのつながりを持ってもらえるようにする。
- 外出できない高齢者も、オンラインゲームやズームなどＩＴの活用によりつながりをつくることができるのではないかな。買い物ポイントをつけるなどにより参加を促すようにすれば、さらに外出への意識にもつながることができるのではないかな。

テーマ 子育てと教育の充実

第3グループ

○教員の長時間労働を構成する仕事として、学校内での活動のうち学力に関係するものとし、関係しないもの、保護者対応、学外の活動の4つに分類し、一つずつ対策を検討した。

○学力に関するものについては、授業時間の50%以上を均一化されたマニュアルで行う。

○学力に関係しないものの内容は生徒の人間性を育てることであり、そのための専門教員を採用する。

○保護者対応については、「子供は教師が育てるもの」という古い考えによって生じる部分があると考え、保護者と教員が一体となって子供を育てていくというPRを行う。

○学外の活動については、定年退職した人に地域パトロールのような形で協力してもらう。

第6グループ

○教員の働き方改革に向け、教員の精神状態をベストにすることが重要と考える。

○労働時間のほかに15分や30分の短い休憩時間を設け、仮眠を取れるようにする。

○生徒と向き合う時間をつくり、教師と生徒の関係がよくなれば、学校の環境もよくなって教員の負担が減るのではないか。

○教員になりたい人が減っている状況にあるため、小学校で専門性を導入したり、教科担任制、副担任制の制度を導入していく必要があるのではないか。

テーマ 防災対策

第4 グループ

- 文化財の防災対策においては、資金面、担い手不足、指定されていない文化財の存在などの課題があるが、防災ボランティアのネットワーク化により解決を図ることができる。
- 未指定の文化財などが存在する小さな寺社仏閣などを会場として、大学生にも協力を仰ぎ、防災イベントを企画する。その次からは大学生だけでイベントを運営し、小中高生誰でも参加できるイベントとして広報し認知を広げる。イベントでは文化財防災の専門家による講演や実用的な防災グッズ販売を行うことにより、防災を身近に感じてもらえると考え

第5 グループ

- 発災時の対応について、備蓄対策、災害対応可能人員の増加、災害対応強化の3つに分けて話し合った。
- 備蓄対策について、まず市民の備蓄が足りていないため、備蓄量を増やしてもらうと同時に避難所の備蓄を増やすことが大切である。
- 災害対応の可能人員の増加について、市の職員の4割が市外在住のため、公共交通機関などが止まれば出勤できないことから、夜勤するなどの訓練が大切である。また、近隣市と協力して訓練する、職員が市内に住むきっかけとして職員寮を造るなどしてはどうか。
- 災害対応強化について、建物の倒壊が多数発生すると大型車両が入れないため、バイクや空路による活動を充実させることも重要である。
- 小中学校での講演、防災知識を深めてもらうためのワークを行い、予防によって命や財産を守ることが、消防ができる一番の人命救助ではないか。

IV アンケートの集約

26名の皆様にアンケートに御協力いただきました。

【自由回答】

○議会報告会に参加してよかったことは何ですか。また、その理由についてお答えください。

- ・私一人だけでは考えつかないような意見を聞くことができ、新たな気づきを得られ、考えを深めることができた。
- ・具体的な課題に対する施策を議員の方だけでなく、市役所職員の方を交えて意見交流できて良かったと思う。有意義な時間であったと感じるが、時間が少し短かったと思う。次回の開催は市民の方も参加できる方針であるようなので、次回も参加したい。
- ・実際の議場の臨場感を体感できた。
- ・グループでの話し合いにおける自分の実力を確認することができた。
- ・今回初めて議会報告会に参加し、緊張もあり思ったように意見を出すことができず残念だったが初めて地域福祉について深く考える機会になり良い経験となった。
- ・奈良市東部山間地域について学べた。
- ・反省点が多かった。
- ・事前に調べてきたものを元に、具体的な案を提示できた。
- ・自分がいかに市議会に対して無知だったのかが痛感できた。そもそもテーマへの読み込みや理解が浅く、そんな状態で準備不足もあったりと後悔で一杯。ほかの方が素晴らしい分、また機会があれば是非参加したい。
- ・普段関わることはできない議員の方と関わることができた。

- ・奈良県や日本におかれている教員の働き方について、現状を知ることができ、その解決策に携わることができたのでよかった。
- ・ニュースなどで教員の働き方改革を促すものをよく目にするが、きちんと市で考えて動いていることが改めて分かり感動した。

○今回の議会報告会の改善すべきところがあればお聞かせください。

- ・議論の時間を増やして欲しいと感じた。
- ・時間が短い。事前に自身の意見を精査し、考えておく必要があるため、必要な資料はもう少し早く配布してほしい。
- ・LGBT問題に関して議論しなかったのは強く不満を感じた。

○議会報告会や議会について、御意見をお聞かせください。

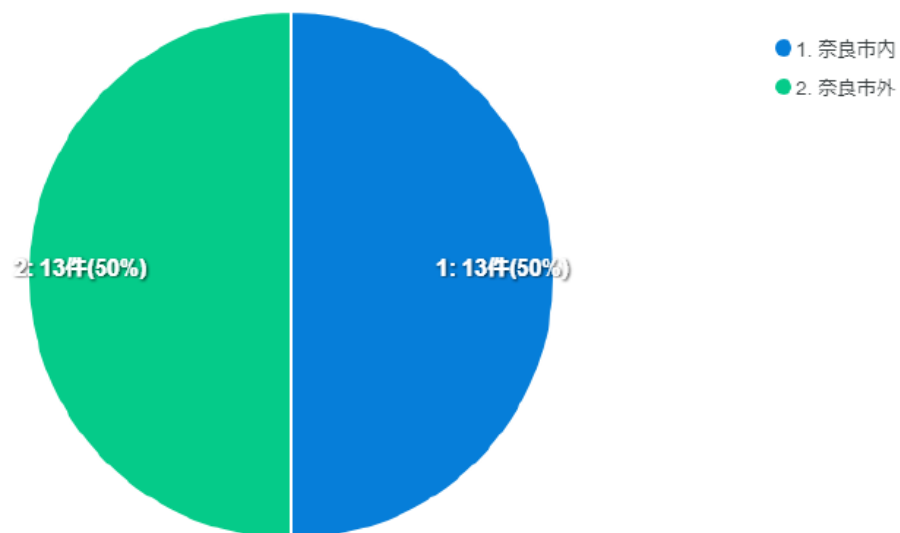
- ・今回の発表の最後に次回開催についての告知があり次回も参加したいと思った。
- ・模造紙があったり担当課の人も参加されたりとても議論しやすかった。
- ・とても充実した議会報告となった。

その他、

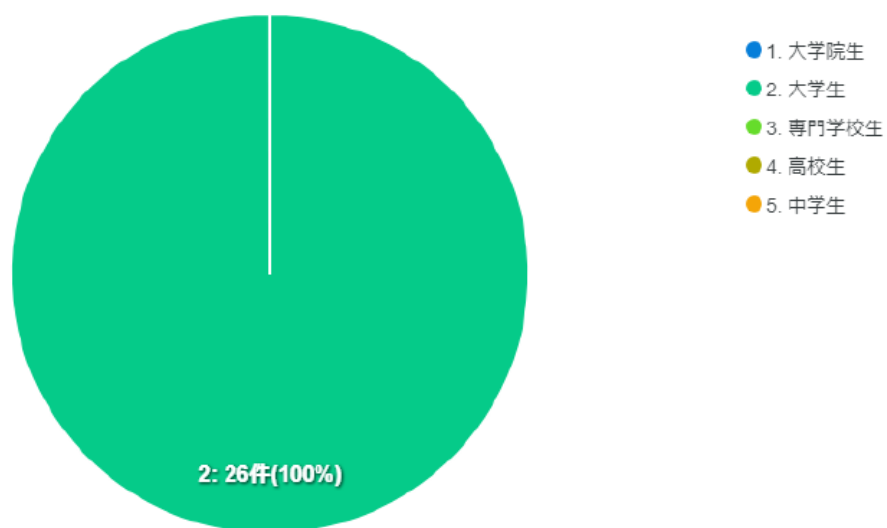
「教育学部のない大学における教員免許取得に当たってのサポートの少なさ、教員になるハードルが上がっていることが教員不足を招いている要因だと感じる。教員を目指す学生に教育現場の生の声を届けたり、放課後児童指導員として子どもと関わる機会を設けることで、教員として働くイメージを持ちやすくなるのではないか」という旨の議論の延長の意見も寄せられた。

【選択肢回答】

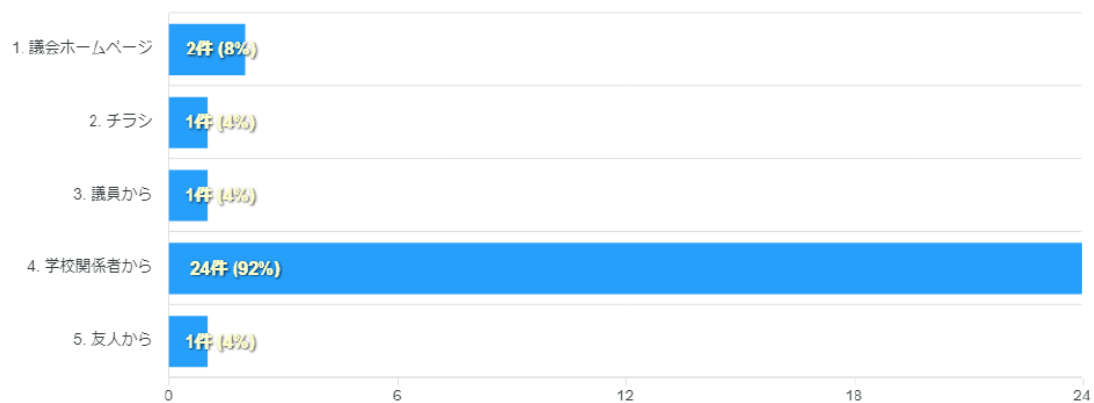
お住まいについてお答えください。



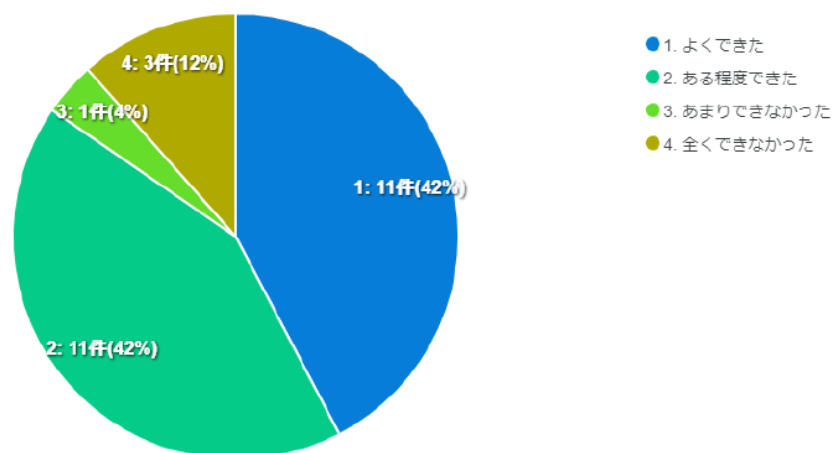
学校種別についてお答えください。



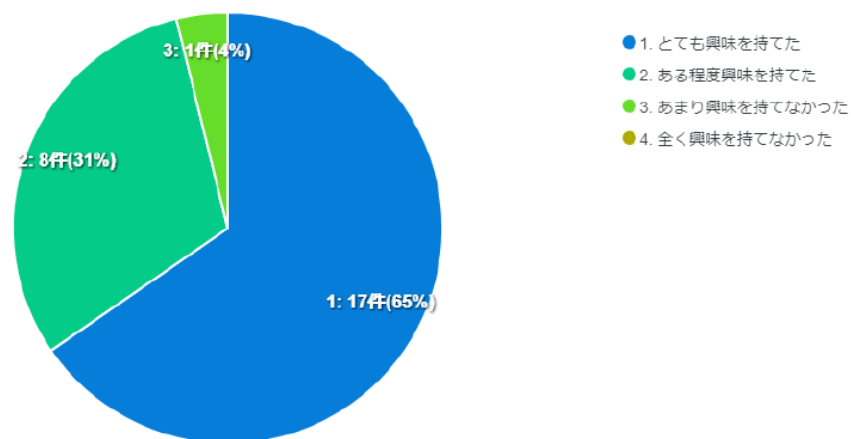
議会報告会の開催について、どこで知りましたか。(複数選択可)



グループワークについて、充実した議論ができましたか。



議会報告会に参加して、以前より奈良市政に興味を持てましたか。



V 議会報告会に参加した市職員の声

- ・市長として発表してくれた6人の学生は、会場にいる全員に注目をされつつも、制限時間の中でグループの意見を分かりやすく伝えるという難度の高い経験をされたことで、本人の自信につながっていくと思う。
- ・学生にとって議会や議員と接する機会は少ないと思うので、このような取組は政治を身近に感じられるよい機会になったのではないかな。
- ・テーマの担当課職員も参加して学生の意見を直に聴くことで、業務に反映できることは多くあると感じた。
- ・公務員独特の思考に偏りがちであると感じていた中、学生たちが様々な目線、考えを持って意見交換をする姿に大きな刺激を受けた。今後も機会があればぜひ参加したい。
- ・今回の議会報告会を機に大学側との連携を含め、意見交換する機会をつくることできないか等を視野に取り組んでいきたい。
- ・グループワークにおいて学生の意見が聞き取りにくくなってしまう場面があった。緊張すると声が小さくなってしまうのは当然なので、もう少しよい環境にできればよかったのではないかな。
- ・用意されていた模造紙や付箋を活用して話の整理ができなかったのが残念だった。
- ・学生の議論がとても熱心であり、話合いの時間が不足したように感じた。ワークショップの時間を確保できるような工夫が必要ではないかな。
- ・職員の参加はテーマによっては有効だと思うが、時間が限られているため長々と話すこともできず、議論を止めたりすることもはばかれるので難しい部分があった。
- ・グループワークでは、発言しにくそうな参加者もいたため、発言しやすい環境づくりを考える必要がある。